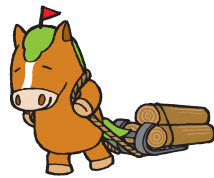


人間ばん馬とクラフトのまち

おけと



議会だより

No. 204

2022.11.1

■発行/置戸町議会

■編集/議会広報特別委員会



主な内容

- 定例会・臨時会 ……………2~3P
- 町長の行政報告 ……………4~6P
- 一般質問(4議員) ……………7~11P
- 議会懇談会 ……………12P
- 報酬見直し・議員表彰 ……13P
- 置戸高校事前研修会 ………14P
- 議員研修会 ……………15P
- 委員会の活動状況 ………16P

玉ねぎ畑の調査 (作況調査)

令和4年 9月定例会

令和4年第6回定例会は、9月12日から13日まで開催され、4議員の一般質問と条例改正、各会計の補正予算等を審議・可決し、閉会しました。

条例

- ▽置戸町議会議員及び置戸町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例 — 原案可決 —
- 公職選挙法の改正に伴い、選挙運動用自動車借上料、選挙運動用自動車燃料の上限と選挙用ビラの作成単価の限度額を改正するものです。
- ▽置戸町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 — 原案可決 —
- 育児休業取得に係る回数緩和、対象期間の拡大等により、育児休業取得の環境整備を行うものです。
- ▽過疎地域の指定に伴う固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例 — 原案可決 —
- 租税特別措置法の引用条項改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

補正予算

■一般会計主な補正内訳

(単位：千円)

主な補正内容	補正額	増減
コミュニティホール高圧構内配電線路改修工事	7,000	増額
高齢者世帯等生活支援事業補助金	6,000	増額
保育対策総合支援事業補助金	1,850	増額
経営継承・発展支援事業補助金	1,000	増額
温泉施設応援商品券交付事業奨励金	1,080	増額
置戸町温泉利用促進事業補助金	4,230	増額
有害鳥獣駆除に要する経費	620	増額
置戸町林業・林産業等振興対策事業補助金	10,000	増額
道路橋梁の維持管理に要する経費	7,000	増額
勝山公民館会議室改修工事	20,000	増額
体育施設管理に要する経費	1,720	増額

それぞれ4億6129万円としました。

- ▽令和4年度置戸町一般会計補正予算 — 原案可決 —
- 歳入歳出予算を6124万円追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ48億3712万3千円としました。
- ▽令和4年度置戸町国民健康保険特別会計補正予算 — 原案可決 —
- 歳入歳出予算を9万円追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ6151万円としました。
- ▽令和4年度置戸町介護保険事業特別会計補正予算 — 原案可決 —
- 歳入歳出予算を651万3千円追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ6億811万3千円としました。

認定

▽令和3年度歳入歳出決算の認定

一般会計外6特別会計
— 決算審査特別委員会付託 —
各会計とも、閉会中の継続審査として、決算審査特別委員会を設置し付託しました。

決議案

▽事務検査に関する決議

— 原案可決 —
閉会中の決算審査として付託された令和3年度一般会計・各特別会計歳入歳出決算の審査に万全を期すため、決

- 委員長 澁谷 恒壹
副委員長 石井 伸二
委員 小林 満
阿部 光久
佐藤 勇治
嘉藤 均

算審査特別委員会に關係書類の提出を求め、事務検査を行うことが出来るよう決議されました。

報告

同意

▽置戸町教育委員会委員の任命について—原案同意—
令和4年9月30日付をもって任期満了となる置戸町教育委員会委員篠原 正美氏（字安住 64歳）の再任に同意しました。

▽令和3年度置戸町財政健全化及び経営健全化の比率について—報告済—
令和3年度財政健全化及び経営健全化の比率について、監査委員からの審査意見書を付して報告がありました。
意見書の内容は、特に是正改善を要する事項はない旨の審査報告でした。

▽例月出納検査の結果報告に

一般質疑を掲載します

～令和4年度一般会計補正予算より～

問 マイナポイントのもらい方、使い方は。

答 9月末までにマイナンバーカードを申請していただいた方に最大2万円分のポイントがもらえるというイベントがあります。ポイントについては、マイナンバーカード自体にはポイントの機

能はなく、別にお持ちのポイントで買い物ができるカードが必要であり、条件を満たされた方にそちらのカードにポイントを付与する形になっております。手続きについては企画財政課のDX推進係で行っております。

ついて —報告済—

監査委員から令和4年5月31日、6月30日、7月31日現在までの出納検査について、検査の結果、現金の出納及び保管は適正に行われていると報告がありました。

諮問

▽置戸町人権擁護委員候補者の推薦について

—適任者と推薦決定—
置戸町人権擁護委員候補者として、磯川 直文氏（字境野 64歳）の推薦について、適任者と推薦決定しました。

要望意見書

▽国土強靱化に資する道路の整備等に関する要望意見書

▽道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する
高校教育を求める要望意見書

書

議員から提出された2件の要望意見書案を審議の結果、原案のとおり可決し、衆参議院議長はじめ関係各大臣等に提出することにしました。

令和4年
第5回
臨時会
8月2日開催

条例改正等について、審議可決し閉会しました。

条例

▽置戸町交流促進センター設置条例の一部を改正する条例 —原案可決—

置戸町交流促進センターのRVパーク1泊2日利用料金上限を6000円に定めるものです。

補正予算

▽令和4年度置戸町一般会計補正予算 —原案可決—
歳入歳出予算を3677万2千円追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ47億7588万3千円としました。

▽令和4年度置戸町下水道特別会計補正予算 —原案可決—

歳入歳出予算を308万円追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億322万8千円としました。

専決処分

▽専決処分の報告について —報告済—
幸秋林道グレイチング跳ね上げ事故の損害賠償額について報告がありました。
・損害賠償額
15万2075円

町長からの行政報告

次のとおり町長から報告がありました。要約してお知らせします。

作 況

気象状況及び農作物の生育状況について報告します。

本年は例年よりも遅く1月下旬までまとまった降雪が見られず、昨年に続き土壌凍結が進みました。春先は気温の高い日が多く、5月の前半は低気圧を含む気圧の谷や高気圧が交互に通過したため、周期的に天気が変わりましたが、降水量は少なく、気温も平年より高く推移しました。後半は、低気圧や気圧の谷の影響で曇天が多く、まとまった降雨がありました。各作物とも植付け作業は順調に進めることが出来ました。

今年は気温も平年より高く推移し、降水量も6月中旬までは平年並みと、一般的には農作物の生育及び農作業は順調に推移してきましたが、6月中旬から7月中旬にかけての激しい大雨・降雹により、てん菜では発芽不良した一部圃場、玉ねぎでは腐敗病の見られる一部圃場では廃耕を余儀なくされるなど、収量、作柄に大きな影響を受けています。8月後半からは本格的な収穫時期を迎えています。全般的には例年並みに収穫作業が進んでおります。

9月1日現在の主要農作物の育成状況につきまして概要を申し上げます。

秋まき小麦ですが、昨秋は平年より早く播種を終え、天候は概ね良好で生育は順調でしたが、12月中旬までまとまった降雪が見られず、土壌凍結は平年より進みました。その後の降雪は平年並みで春を迎え、雪腐病の発生はほとんどありませんでした。起生期は平年よりやや遅れましたが、幼穂形成期、止葉期、出穂揃期とも平年並みでした。6月下旬以降は高温で推移し、成熟期は平年より早まりました。7月4日及び18日の激しい降雨によって倒伏が発生し、出穂期から成熟期の登熟日数は6日ほど早まり、収穫作業は天候にも恵まれ順調に進み、平年よりやや早く収穫を終えております。反収は86kg少ない635kgで、作柄は概ね平年並みとなっております。なお、縞萎縮病の発生が見られましたが、心配されたなまぐさ黒穂病は、確認されておりません。



▲ばれいしょ畑を調査（作況調査）

馬鈴薯は、植付け作業が平年並みに始まり、植付期から植付終と作業は順調に進みま

した。その後も萌芽期、着蕾期と概ね生育は順調に推移しております。植付以降、6月上旬を除いて気温は高く、日照時間は平年並みで降水量が極めて多かったことから、軟弱徒長気味で生育し、茎長は平年値を上回りました。しかし、6月から7月の降雹や集

中豪雨の影響もあり一部圃場では茎葉の損傷が見られました。多雨傾向だったこともあり、茎葉黄変期は少し早まりました。収穫作業は平年並みに始まり、収量・規格内収量ともに平年並みを見込んでおりますが、例年を上回る降水量の影響もあり、塊茎腐敗の心配がされております。

てん菜については、移植栽培につきましては、育苗、移植時期ともに天候に恵まれ

平年より早く進みました。5月中の乾燥傾向は下旬の降雨で解消されたものの、その後の低温と日照不足傾向で生育は抑制されました。しかし、

6月下旬以降の日照時間は平年並みとなり、気温は高めに推移し、十分な降雨に恵まれたことから生育は回復傾向に進んでおり、褐斑病やヨトウガ食害などの発生も抑えられていて、作況圃における根周は30・9cmと順調に生育しています。直播栽培は例年より土壌凍結が進み、耕起がやや遅れましたが、播種期、播種終が強風や降雨の影響もあり、

平年よりやや遅れて終了しています。出芽期は平年並みであったものの、播種後の乾燥、低温等の影響から発芽不良が見られ、一部圃場では廃耕しております。5月下旬以降は移植同様、生育は回復してきており、根周は27・5cmと平年並みを維持しております。本年の反収は移植・直播含めて昨年並みの6トンほどを見込んでおります。

たまねぎは、ハウス内の播種作業、移植作業も天候に恵まれ、移植終は平年よりやや早く終了しました。移植後、5月は高温少雨傾向で強風の影響から、茎葉の傷み・損傷が見られました。5月下旬から6月上旬にかけて低温・日照不足となりましたが、適度な降雨により生育は平年並みに推移しました。しかし、6

月19日、7月4日、18日と3度にわたり雷、降雹、集中豪雨があり、茎葉の打撲、損傷、ちぎれ等が見られ、その後も降雨が続き多湿傾向から軟腐病・リン片腐敗病といった腐敗が進み、これらの影響によ

り町内ではおよそ33町が廃耕を余儀なくされました。生育は、球形は7・7cmと平年並みで、収穫始もほぼ平年並み、収量は平年並みを見込んでおりますが、腐敗等の影響から正品率の低下が懸念されております。

牧草の1番草につきましては、融雪期が平年より遅れたことにより、萌芽期もやや遅れました。5月の高温少雨、5月下旬から6月上旬にかけての低温・日照不足のため、

出穂始は平年よりやや遅れました。6月中旬の定期的な降雨はありましたが、7月12日に収穫を終えており、収量は反当り2,433kg、前年比103%と平年をやや上回りました。2番草は1番草の収穫後の再生時期に定期的な降雨があり再生が良かったため、平年を上回る収量が見込まれて

います。飼料用トウモロコシにつきましては、播種作業も好天に恵まれて、出芽も良好に進みました。5月下旬から6月上旬にかけて低温・日照不足の

ため生育が停滞し、7月中旬までは平年を下回る草丈で生育しましたが、7月下旬からは気象推移により順調に生育し、草丈は305cmと平年をやや上回っております。

国・道の直轄事業

令和4年度国及び北海道直轄の事業概要について報告します。

初めに網走開発建設部北見道路事務所が所管している事業につきましては、一般国道242号線の維持補修工事5

件、合計1億3272万2000円。北見河川事務所所管の常呂川維持工事では2件、4938万2000円。合わせて7件1億8210万4000円で維持補修が進められております。

次に北海道関係でオホーツク総合振興局網走建設管理部所管事業につきましては、維持補修工事2件、本別留辺蘂線改良工事1件、橋梁補修工事1件、合計4件、5975

万円で事業が進められております。

次に林務課所管事業につきましては、小規模治山工事1件、300万円が計画されております。

最後に中部耕地出張所の事業につきましては、幸岡地区の農道整備事業による修繕1件、5082万円。農地中間管理機構関連農地事業による拓実地区の面整備及び補償外10件、3億5066万8000円。合計11件、4億148万8000円で事業が進められております。

区分	事業内訳	工事費(千円)
網走開発建設部	道路関係	5件 132,722
	河川関係	2件 49,382
オホーツク総合振興局(網走建設管理部)	道路関係	4件 59,750
オホーツク総合振興局(林務課)	林業関係	1件 3,000
オホーツク総合振興局(中部耕地出張所)	農業関係	11件 401,488

大雨・落雷・降雹 被害について

本年6月及び7月に発生した大雨、落雷、降雹被害について報告します。

近年、地球温暖化によるものと思われる異常気象が頻発し、本町におきましても、6月19日、7月4日、7月18日と短い期間で3度にわたり、落雷や降雹を伴う局地的な大雨による被害に見舞われました。

初めに6月19日の発生被害状況ですが、午後3時30分頃秋田地区から境野地区、訓子府町にかけ線状降水帯が発生し、局地的に雷を伴った大雨となりました。秋田、雄勝地区から境野地区と限られた地域で短時間に激しい雨となり、一時、道道北見置戸線の一部が冠水いたしました。幸い建物への被害はありませんでしたが、この雨により、秋田地区では1戸8.3ヘクタール、境野地区で4戸9.5ヘクタール。合わせて5戸17.8ヘクタールの圃場で表土流失、

土砂埋没、そしてD型倉庫1棟が土砂流入の被害を受けております。土木被害については、境野地区で6路線で被害がありました。直営により復旧を完了しております。

次に7月4日の被害状況ですが、午後0時10分頃豊住地区から境野、川南地区にかけ線状降水帯が発生し、雷や降雹、突風を伴う激しい雨となりました。境野アメダスの観測では、降水量43mm、1時間当たり最大降水量28.5mmと降水量自体は大きなものではありませんでしたが、10分間の最大降水量は12mmと短時間で激しい降雨となりました。さらに、豊住から川南、春日地区の一部で降雹が確認されており、農作物の育成、病気発生等大きな影響を及ぼしております。また、落雷により境野、川南、常盤、置戸市街地区の一部で停電が発生しましたが短時間で復旧しました。玉ねぎや馬鈴薯など畑作物全般で秋田地区から勝山地区まで29戸310ヘクタールと広範囲に被害を受けております。

法人も含めて被災農業者は、町全体の3分の1。被災農地は、約7.5%にあたり大きな被害となりました。その他、D型倉庫1棟が突風被害、ビールハウス1棟が土砂流入、落雷によるボイラー破損の被害が報告されています。土木被害については、境野地区・川南地区で土砂堆積被害を受けた他、ホロイツチャン川の河川が洗堀被害を受けておりますが、直営での作業により復旧を完了しております。

最後に7月18日発生被害状況ですが、15時頃より置戸市街地区から境野地区にかけて積乱雲が発達し、一時的に雷を伴う激しい雨となりました。境野アメダスの観測では、降水量が85mm、1時間当たりの最大降水量67.5mm、10分間の最大降水量は18mmと激しい雨となり、再び道道北見置戸線、境野市街地区の一部が冠水いたしました。農業被害では小麦やデントコーンを中心に、秋田地区で2戸6.9ヘクタール。境野地区で2戸2.1ヘクタール。川南地区

で2戸12.8ヘクタール。豊住地区で9戸3.7ヘクタール。合計で15戸25.5ヘクタールの農地で表土流失や冠水などの被害を受けております。その他、落雷によりボイラー破損や境野浄化センターの耐電トランスが被害を受けております。土木被害については、秋田地区で5路線、境野地区で6路線、北光地区で4路線、常盤地区で1路線、拓実地区で4路線、中里地区で2路線、勝山地区で2路線の合計24路線で路面洗堀、土砂堆積や法面洗堀などの被害を受けておりますが直営により復旧作業を進めております。

以上6月から7月にかけて発生しました落雷、降雹、突風を伴う大雨による被害でございますが、今回被害に遭われました町民の皆様は心よりお見舞いを申し上げます。今回の局地的な豪雨は境野方面に集中し、町民の生活道路である道道北見置戸線が平成28年に続き、今回境野地区で2度にわたり冠水いたしました。これまで境野分譲団地付近の

排水路を二乗するなど雨水対策に取り組んでまいりましたが、近年異常気象による大雨は増加してきており、本町においては10年前の過去30年間の平均年間降水量は730mmと比較的少ない地域でしたが、近年は800mmを超えており、ここ10年で10%も増加しております。これからも自治会、住民の皆様や道道管理者である北海道、出口である常呂川への排水など網走開発建設部とも協議をしながら境野市街地区の集排の分散など抜本的な対策を検討し、防災、減災に取り組んでまいりたいと思っております。



▶大雨による道路洗堀被害